

令和4年度
「海風の国」佐世保・小値賀 観光マイスター検定試験
【問題/解答用紙】(10/6 開催)

※設問文中の〇〇は文字数と関係ありません。

【小値賀】3問(問題1～3)

問題1 小値賀町野崎島にある〇〇は、明治41(1908)年、鉄川与助の手により完成したレンガ造りの教会です。信徒が去った今は、文化財として小値賀町が管理しています。〇〇に入る教会の名前を答えよ。

答え

問題2 小値賀町にある〇〇は、幾万年もの間、絶え間なく打ち寄せる波の力により、海底火山の火口だった場所にできた半円の断崖で、まさに白砂青松の美しい風景が広がります。〇〇を答えよ。

答え

問題3 「〇〇大祭」は、毎年10月の12日～14日に島内で最も人口の多い笛吹地区で行われている、その年の五穀豊作を感謝する例大祭です。白装束に金色袴の男性が担いだお神輿が商店街を練り歩き、その後には各自治会の趣向を凝らした山車や奉納踊りの列が続きます。〇〇を答えよ。

答え

【宇久島】3問(問4～6)

問題4 宇久島で最も高い〇〇は標高258.6mあり、五島最北端の展望台からは南西方角へ向けて五島列島を一望できます。空が澄み渡った晴天時には北東の方角に壱岐・対馬を望むこともでき、四季を問わず観光客で賑わいます。また展望台の反対側には愛宕地藏と観音様があり、苔むした石垣に取り囲まれた独特の雰囲気の中で、古くから親しまれている観音様を拝むことができます。〇〇を答えよ。

答え

問題 5 ○○は、宇久島の最北端の岬にあり、テレビ CM の舞台になるなど、島を代表する絶好のロケーションを誇る草原の緑と海の青の中にそびえ立つ灯台です。○○を答えよ。

答え

問題 6 宇久島では、島の○○を使った五島を代表する昔ながらのおやつ「かんころ餅」づくりを体験できます。○○を答えよ。

答え

【九十九島】4問（問題7～10）

問題 7 西海国立公園「九十九島」は、海岸線の長さが約 288 kmにもおよぶ日本有数の長さを誇るリアス海岸で、○○の島々が点在しています。○○に入る数字を答えよ。

答え

問題 8 2018 年 4 月 19 日、九十九島湾は「世界で最も○○クラブ」に加盟認定されました。○○を答えよ。

答え

問題 9 数ある展望所の中で標高が最も低く、九十九島が眼前に広がり、迫力ある眺望が楽しめる船越展望所には、○○が 68 歳の時に九十九島周辺を測量した時の行程等を示した案内板が設置されています。○○に入る歴史上の偉人の名前（漢字・フルネーム）を答えよ。

答え

問題 10 九十九島は、佐世保港の外側から北へ約 25 kmにわたり島々が点在する海域のことで、島の密度は日本一といわれています。九十九島のほとんどが無人島ですが、有人島が 4 島あります。有人島の名前を全て答えよ。

答え

【黒島】3問（問題11～13）

問題11 2018年7月、「長崎と天草地方の〇〇関連遺産」は世界文化遺産に登録されました。「黒島の集落」は構成資産のひとつです。〇〇に入るこの世界文化遺産の名称を答えよ。

答え

問題12 根谷の〇〇は、亜熱帯植生の樹木で樹齢約100年。気根をよく見る事が出来ます。別名、気根が垂れている様子から「たこの木」、または、石や木々を巻き込みながら大きく成長するので「絞め殺しの木」とも言われます。いちじく属（クワ科）の木で、いちじくのよう小さな実がなります。蕨（わらべ）地区でも防風林として見る事が出来ます。〇〇を答えよ。

答え

問題13 黒島にある〇〇は、県指定天然記念物で、約800万年前にできた総全長約320mもある岩脈です。〇〇を答えよ。

答え

【九十九島北部・高島・相浦・小佐々・鹿町】3問（問題14～16）

問題14 東経129度33分、北緯33度12分に位置し、「日本〇〇の地」としてシンボル塔がそびえる神崎鼻公園は、西海の海に抱かれた景勝地で、西北の海上に五島列島、平戸島を望むことができます。〇〇を答えよ。

答え

問題15 標高234mの〇〇に広がる〇〇公園では、4月から5月にかけて「〇〇つつじまつり」が開催され、約10万本のつつじが山の斜面を朱色に染める風景や、眼下に広がる九十九島北部の眺望はまさに絶景です。〇〇を答えよ。

答え

問題16 高島の南側にある〇〇山頂（標高 136m）からは、平戸島から西彼杵半島を見渡す事ができます。現在は山頂に「高島〇〇展望台」が設置され、美しい景色を一望することができます。この展望台は、「九十九島八景」に選定されています。〇〇を答えよ。

答え

【江迎】3問（問題17～19）

問題17 毎年、8月23日・24日の2日間、賑やかに開催される「江迎千灯籠まつり」。この祭りの大きな見どころのひとつに「〇〇まつり」があります。子どもたちが、神輿にのせた木彫りのお地藏様をかついで、寿福寺の山門から嘉例川へ。川に着くと、子どもたちは神輿をおろし、お地藏様に元気よく水をかけます。〇〇を答えよ。

答え

問題18 〇〇の本尊は釈迦三尊が鎮まり、子どもが群がって遊んでいる水かけ地藏の信仰は、無垢な子ども心にまで薫習（くんじゅう）しています。京都の庭師による庭園は見事で、初夏は逆さ新緑、秋には逆さ紅葉が楽しめます。〇〇に入る寺の名前を答えよ。

答え

問題19 江迎町にある〇〇は、滝の高さ約20m、滝つぼの深さ約6m、男滝と女滝に分かれており、その名前のとおり、竜神が潜んでいたかのような神秘的な風情を感じさせます。平戸八景の一つとしても知られています。〇〇に入る滝の名前を答えよ。

答え

【吉井・白岳高原・世知原・柚木】3問（問題20～22）

問題20 吉井町にあり佐々川に架かる〇〇は町の中心にあって交通の要所となっている橋です。長さ36m、幅6.4mで大正11（1922）年3月に完成し、今年100周年を迎えました。吉井町には数々の石橋がありますが、アーチ部分が二つある「眼鏡橋」構造のものは〇〇だけです。〇〇を答えよ。

答え

問題21 天空の宿「山暖簾」は、標高350mの県立自然公園の中に位置し、自然に囲まれた宿泊施設です。この建物は、世界的に有名な建築家〇〇氏の総合プロデュースにより、自然と近未来との融合をコンセプトに建てられました。〇〇を漢字・フルネームで答えよ。

答え

問題22 〇〇は、樹齢260年以上のオオムラザクラが植栽されている寺です。この桜は宝暦3(1753)年頃に平戸藩主から拝領したもので、平戸の亀岡神社から株分けしたと考えられています。また、里桜の変種で、花弁(60~200)が非常に多いのが特徴です。咲き方も独特で、外花と内花に分かれた花が順に開きはじめる二段咲きをします。〇〇を答えよ。

答え

【三川内】3問(問題23~25)

問題23 400年以上の歴史を持つ三川内焼を見て、買って、楽しむ、10月初旬開催の「〇〇」。会場には約40社が参加し、普段使いから美術品まで、3~4割ほど安く買うことができます。〇〇を正式名称で答えよ。

答え

問題24 三川内焼の伝統の技の一つで、ろくろで形成された生地をさらに削り込んで薄く仕上げる技法で、透き通るような独特の風合いを誇り、卵の殻程の薄さのため「〇〇<別名:薄胎(はくたい)>」と呼ばれています。〇〇を答えよ。

答え

問題25 〇〇は、三川内皿山の氏神である天満宮の境内社で、三川内焼陶祖の一人である中里エイ/高麗媼(こうらいばば)の業績をたたえ、祭神として祀られている神社です。〇〇を答えよ。

答え

【早岐・宮】3問（問題26～28）

問題26 早岐では、安土桃山時代から「海の幸・山の幸」を持ち寄って物々交換をしていたことから、自然発生的に「市」が立つようになりました。早岐茶市は、現在も5月の7・8・9日の初市から、中市、後市、〇〇と4度に渡って毎年開催されています。〇〇を答えよ。

答え

問題27 第二次世界大戦末期に宮村国民学校の教師と児童が掘った防空壕が城間町にあります。当時の校長先生の発案で、昭和18（1943）年8月29日～昭和20（1945）年8月15日の終戦まで掘り続けられました。この防空壕は〇〇と呼ばれています。〇〇を答えよ。

答え

問題28 西海橋は、海峡にかかる大橋のトップバッターとして、4年の歳月をかけ誕生しました。〇〇瀬戸（別名：伊ノ浦瀬戸）にかかる長さ約316mの日本初の長大橋です。〇〇を答えよ。

答え

【俵ヶ浦半島・高後崎・針尾島】3問（問題29～31）

問題29 現在の「佐世保橋」は、かつて「〇〇橋」と呼ばれたこともあり、鎮守府と市街地を隔てる場所でもありました。橋を渡った先に鎮守府の門があり、そこから先が佐世保鎮守府の敷地で、一般市民は立ち入りが制限されていました。〇〇を答えよ。

答え

問題30 〇〇には、昭和20（1945）年10月14日から昭和25（1950）年4月までに、軍人・軍属・一般法人あわせて、約140万人が引揚げにより上陸しました。

その後、恒久平和を願い、歴史的遺産として後世につたえるため、全国からの募金で昭和61（1986）年に「〇〇引揚記念平和公園」「〇〇引揚記念資料館」が建設されました。〇〇に入る地名を答えよ。

答え

問題31 ○○施設（別名：針尾送信所・通称：針尾無線塔）は、大正11（1922）年、旧海軍の手によって4年の歳月をかけて建設された3本の塔で、今年建設100周年を迎えました。高さは約136m、それぞれ300mの間隔をおいて正三角形に配置されています。○○に入る建物の正式名称を答えよ。

答え

【佐世保市街】3問（問題32～34）

問題32 佐世保公園は、佐世保川に架けられた「○○橋」で対岸と結ばれています。○○を答えよ。

答え

問題33 巖屋宮（いわやぐう）は、○○神社境内にある間口約5.4mの洞窟です。平戸八景の一つであり、中心市街地にあるとは思えないような別天地です。洞内は神域となっており、通常は中を見ることはできません。穴妙見（あなみょうけん）とも呼ばれています。○○を答えよ。

答え

問題34 大正時代から、佐世保市民の台所として親しまれる戸尾市場街。その一角は、「戦時中の防空壕」と「戦後の街路整備で新たに掘られた横穴」を利用した商店が並び、○○と呼ばれています。○○を答えよ。

答え

【観光施設】6問（問題35～40）

問題35 九十九島パールシーリゾートには、未来志向の環境や自然に優しいエコな船「九十九島海賊遊覧船【a】」や、海の女王をイメージした優雅な船体の「九十九島遊覧船【b】」をはじめ、ヨットセーリングやシーカヤックなど、豊富なクルージングメニューがあります。【a】【b】に入る名称を答えよ。

答え 【a】 【b】

問題36 平成21(2009)年7月18日リニューアルオープンした〇〇(通称:海きらら)は、国立公園に指定されている九十九島の海を再現した、全国的にも数少ない地域密着型の水族館です。〇〇に入るこの施設の正式名称を答えよ。

答え

問題37 ハウステンボスの運河には、オランダ式の〇〇を採用し、大村湾の干満の差を利用することで、消費電力を削減しています。この自然環境へ配慮した総合的な省エネルギーが高く評価され、1997年に「省エネルギーセンター会長賞」を受賞しています。〇〇を答えよ。

答え

問題38 ハウステンボスは、【a】年3月25日に開業し、令和4(2022)年に開業【b】周年を迎えました。【a】【b】を答えよ。 ※【a】の解答は、西暦・和暦どちらでも良い。

答え 【a】 【b】

問題39 〇〇には、現代の三川内焼の窯元や作家の作品と、初期から御用窯時代の逸品の数々が展示されています。〇〇を答えよ。

答え

問題40 海上自衛隊佐世保史料館(愛称:セイルタワー)は、旧日本海軍士官の集会所「佐世保〇〇」跡地に、平成9(1997)年、その一部を修復して残し、建設された史料館です。〇〇を答えよ。

答え

【食・グルメ】3問（問題41～43）

問題41 海軍さんのビーフシチューは、日露戦争時の旧日本海軍連合艦隊司令長官として知られる〇〇が、イギリス留学中に惚れ込んだビーフシチューを、佐世保ゆかりのメニューとして、「海軍割烹術参考書」をもとに再現したものです。〇〇に入る人物名（漢字・フルネーム）を答えよ。

答え

問題42 港街佐世保にハンバーガーがやってきたのは、〇〇年頃のこと。当時、アメリカ海軍から直接レシピを聞いて作り始めたのがはじまりで、佐世保は日本における「ハンバーガー伝来の地」といわれています。〇〇に入る年を答えよ。西暦・和暦どちらでも良い。

答え

問題43 〇〇せんぺいの形は、縁起物である海亀のこうらにヒントを得た六角形。表には「〇〇」の文字。裏は、散りばめたピーナッツが美しい〇〇の大小の島影を表現しています。〇〇を答えよ。

答え

【物産】4問（問題44～47）

問題44 アジの魚肉と卵白を混ぜ合わせ、麦わらでくるんで蒸す小値賀の「〇〇かまぼこ」。アジの風味が詰まった手作りのかまぼこです。〇〇を答えよ。

答え

問題45 江迎町にある〇〇は、元禄元（1688）年、平戸藩の七浦奉行を務めていた初代山下庄左衛門が藩命により酒造業を営み始めた酒造で、現在の13代目へと受け継がれています。創業当時から伝統的技法を守り続け、仕込みは10月から始まり3月頃まで手間をかけて行われています。〇〇を答えよ。

答え

問題 46 佐世保市で養殖される〇〇は、早摘みミカンを入れた特別な飼料を与え、自然豊かな九十島海で育てられています。〇〇をブランド名答えよ。

答え

問題 47 黒島の島めぐりには欠かすことのできない楽しみのひとつ〇〇。定番の黒島豆腐に黒島の新鮮野菜、お刺身はつままでもおいしい黒島のグルメです。〇〇を答えよ。

答え

【その他】3問（問題48～50）

問題48 明治22（1889）年7月1日の「佐世保鎮守府」開庁以降、村から町を飛び越え、一躍市へと変わった「佐世保市」は、令和4（2022）年に市制施行〇〇周年を迎えました。〇〇を答えよ。

答え

問題49 昭和43（1968）年までは米海軍の住宅地となっており、その後ソフトボール場、水遊び場、噴水など、市民憩いの場として利用されていた「佐世保〇〇公園」が令和4（2022）年4月1日にリニューアルオープンしました。〇〇を答えよ。

答え

問題50 『「〇〇の国」暮らしを育む海舞台—浦々の四季で迎える西海物語—』
〇〇に入る言葉を答えよ。

答え
